

「ありがとう」
笑顔をふやす
魔法の言葉
保内中 大星 遥都

さるびあ通信



令和4年度
7月発行

八幡浜市いじめ対策
委員会事務局

「原点」

八幡浜市教育委員会教育長 井上 靖

平成8年1月25日、松柏中学校でいじめを苦に女子生徒が亡くなるという痛ましい事故が起きました。現在、各小・中学校、ブロック（中学校区）、市全体の三層で組織されている「いじめ対策委員会」は、そのときに立ち上げられたものです。

事故から数年後、女子生徒の同級生が母校の後輩たちに語り掛けた内容の一部を紹介します。

夢について考えるとき、ぼくは必ず中学2年生当時に戻らなければならない。その年、ぼくたちの学校で事故が起った。その後、ぼくたちは、ぼくたちの中で起こっていたことについて、「お金をせびるわけでもない。暴力をふるうわけでもない。が、しかし、言葉を武器に日常的にいじめるといふ最低の行為」と責められた。

事故のあとは、いろいろな圧力につぶされてしまいそうな苦しい日々だった。それでも、ぼくたちは、ぼくたちを人格ごと受け止めてくれる家族や先生方に支えられた。「自分たちの周りには、まだ信頼関係を切らないでくれる人たちがいる。一人ぼっちで放り出さないでくれる人たちがいる」という感覚が、ぼくたちに「苦しみと共に生きるんだ」という勇気を与えてくれた。

苦しかった時期を乗り越え、新しい学年へ変わり、ぼくたちは最上級生になった。そして、「松柏中をここから建て直そう！」と一つになった。それは、その年の生徒会スローガンが物語っている。「がんばろうや松中」。ちょうど1年前、阪神淡路大震災から立ち上がった人々の復興のスローガン「がんばろう神戸！」と同じ気持ちだった。

ぼくにしか伝えられないことがある。自分の行為は、相手からすればひどく傷つくことであるにもかかわらず、そのことに気付かず、その行為を繰り返してしまっていることが往々にしてあるということ。自分の配慮のない行為や言葉が相手を傷つけるというレベルを超えて、死へ追いやってしまうこともあるのだということ。

「先輩からの言葉」より

第1回 八幡浜市いじめ対策委員会開催

令和4年度第1回八幡浜市いじめ対策委員会を6月30日（木）に市役所保内庁舎で開催しました。

はじめに役員選出を行い、会長に市公連会長の木下恵介氏（5年目）、副会長に市P連会長の竹内将人氏（1年目）が決定しました。1年間よろしくお願いします。

対策委員会では、まず、4ブロックの各いじめ対策委員会の報告と、令和3年度八幡浜市いじめ対策委員会の活動報告といじめ・不登校の状況について説明があり、本年度の活動方針と事業計画について協議を行いました。

そして、本年度の活動方針を決定するとともに、「いじめや虐待のないまちづくり」のための提言及び「情報通信機器の取扱いにかかわる提言」について確認しました。

今後とも、地域をあげて、子どもたちの健全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度の活動方針(活動の方向)

- いじめをなくすため、「あいさつ運動」を推進する。
あいさつ強調運動旬間の取組（市民啓発の推進…懸垂幕、マイク放送、Webサイトの利用）
- 子どもの安全を確保し、児童虐待防止に努める。
- 児童生徒や保護者の不安や悩みを解消するため、教育相談や療育相談活動を推進する。
- 児童生徒等の実態を踏まえた取組を進めるための調査活動を実施する。
- 不登校又は不登校傾向児童生徒への適切な対応を進める。
- 心のふれあいや、つながりを深める地域活動を進める。
- それぞれの学校や家庭で「情報通信機器等の取扱いにかかわる提言」の実現を図る。
- 集団生活を通して、より良い人間関係づくりに努める。
- 安全確保に努め、事故防止に努める。

いじめ問題等対策講演会を実施しました

第1回八幡浜市いじめ対策委員会の後に「いじめ問題等対策講演会」を実施しました。

今回は、愛媛大学大学院医学系研究科特任講師の河邊憲太郎氏をお迎えし、「ネットやゲーム依存への対応の在り方」と題し、医師の立場から講演いただきました。

【講演より】

- ネット依存、ゲーム障害の現状
 - ・増加し続けている。有病率：ネット依存 7.02%、ゲーム障害 2.47%
 - ・生徒の不登校等の背景とつながっている事案も多い。
- 昨今の小中学生の問題
 - ・青少年の95.8%がネット利用 小学生(10歳以上)90.5% 中学生97.4% 高校生98.8%
 - ・時代はICT、GIGAスクール構想で、今やPC端末は、鉛筆やノートと並ぶ必需品となっている。
 - ・世の中の10歳は、知らないことが多すぎる。準備なしにSNSの世界に入っているのは危険であり、予防教育の重要性がますます高まっている。
 - ・いじめ・暴力・不登校の問題は増大・低年齢化している。
- 学校等での対応
 - ・ゲーム以外で、ドーパミン[※]を増やす。 ・新しいことに挑戦させる。
 - ・中高生になる年代の心理に適した保護者の関わり方が大切である。
 - ※ドーパミン…快感や多幸感を得たり、意欲を作ったり感じたりする神経伝達物質



講演の様子

広報「やわたはま」 つなぐ・つながる

市内の各小・中学校は、子どもたちの健全育成やいじめの未然防止等を図るために、様々なつながりを作り、深めてきました。それらの取組の中から、特色ある取組を紹介します。

<掲載予定>

- 9月 … 川上小
- 10月 … 白浜小
- 11月 … 神山小
- 12月 … 江戸岡小
- 1月 … 八代中
- 2月 … 愛宕中
- 3月 … 日土小

お楽しみに！

この講演は各小中学校へライブ配信し、各校の教職員の皆さんにもお届けしました。今、学校や家庭で大きな課題として挙げられている「ネットやゲーム依存」についての研修を深めることができました。

※ 裏面に、情報通信機器の取扱いにかかわる、いじめ対策委員会の提言を掲載しました。家庭での取組を今一度ご確認ください。

令和4年度 八幡浜市いじめ対策委員会の提言

八幡浜市いじめ対策委員会では、平成8年以降「いじめのないまちづくり」のための提言を行い、「三層の情報環流方式」による協議を重ねてきました。そして、いじめの防止のための様々な取組はもちろんのこと、「あいさつ運動の輪の広がり」「心のふれあいを深める地域活動」「情報通信機器等の取扱いにかかわる指導の充実」などの実践を進め、一定の成果を上げてきました。

しかし、ここ数年来、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、学校や地域における活動の制限や交流の減少を余儀なくされ、児童生徒の社会性の育成や健全育成に、少なからず影響を受けてきました。不登校児童生徒は増加傾向にあり、ゲーム機やスマホ等の情報通信機器等への依存傾向が強くなった事例も増加しています。また、SNSによるいじめも危惧されている現状にあります。

さらには、虐待や暴力、新型コロナウイルス感染症に起因する差別やいじめの問題も大きな社会問題になっています。

私たちは、これまでの取組やいじめ対策委員会における協議を踏まえ、いじめや児童虐待を未然に防ぐとともに、児童生徒の健全育成を図るため、次の提言をします。それぞれの場で、具体的な実践をお願いします。



八幡浜市いじめ対策委員会の提言 ～市民みんなで、「いじめや虐待のないまちづくり」を進めましょう～

《八幡浜市民に向けて》

- (1) あいさつの響くまちをつくりましょう。
- (2) 子どもの安全を確保するとともに、児童虐待防止に努めましょう。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を解消しましょう。

《家庭に向けて》

家庭教育の充実を図りましょう

- (1) 家庭内対話とふれあいを大切にしましょう。
- (2) 子どもに、情報通信機器の正しい使い方を教えましょう。

《学校に向けて》

集団生活を通して、よりよい人間関係をつくりましょう

- (1) いじめを積極的に認知して、早期解決を図りましょう。
- (2) いじめをなくす集団作りを進めましょう。
- (3) 子どもと向き合う時間を充実させましょう。

《地域社会に向けて》

地域の子どもは地域で育てましょう

- (1) 心のふれあいやつながりを深める地域活動を進めましょう。
- (2) 地域の伝統や文化を子どもたちに継承しましょう。
- (3) 地域ぐるみの見守り活動を進めましょう。

※「ながら」見守り活動の推進

《行政に向けて》

「三層の情報環流方式」を効果的に機能させていきます

- (1) 学校・家庭・地域社会の活動を側面から支援します。
- (2) 実態把握に努め、課題を踏まえた施策を推進します。

※「ながら」見守り活動の推進

児童生徒の登下校時間帯に合わせて「外に出て花に水やりをする」「家の前で掃き掃除をする」「通勤時間をずらす」「犬の散歩をする」など、時間と場所を工夫して、何かをしながら登下校中の児童生徒を見守る活動を推進する。

情報通信機器等の取扱いにかかわる提言 (R2.2.27)

～ネット社会を生きる子どもたちのために～

1 リアル社会の中で、友達や家族と楽しく充実した生活を送らせましょう。

- 家庭や地域、学校で、進んであいさつをしよう。
- 家族の団らん、友達との交流を大切にしよう。
- 夢中になること、打ち込めることを見つけよう。



子どもたちをネットやゲーム等依存から守るためには、日常生活の中に、居場所や活躍できる場を作ることが大切です。そのためには、八幡浜市で力を入れて取り組んできた「あいさつ運動」を一層進め、家族や友人とのふれあいを豊かにしていくことが望まれます。

2 規則正しい生活をさせましょう。

- 「早寝早起き朝ごはん」で、規則正しい生活習慣を身に付けよう。
- 情報通信機器やゲーム機の利用は午後9時までには終わらせよう。

インターネットやゲーム機への依存傾向が強い子どもたちの中には、昼夜逆転や睡眠不足によって、学校や家庭生活に悪影響が出ているケースもあります。そこで、規則正しい生活習慣を徹底させることが大切です。平成26年度末に、八幡浜市いじめ対策委員会において、情報通信機器の利用は午後9時までにするを提言しました。この提言を再確認し、徹底していくことが求められます。

3 情報通信機器・ゲーム機利用のための「家庭のルール」を作らしましょう。

- 情報通信機器やゲーム機を利用する場合は、時間の上限や使用場所を決めよう。
 - ※ ルールづくりのポイントとして、守れなかったらどうするかということとを家族で相談しましょう。
 - ※ 「ノーゲーム・デー」や「ノーネット・デー」を決めて実行しましょう。
- フィルタリング、ペアレンタルコントロールを設定しよう。
 - ※ ペアレンタルコントロールとは、保護者が子どもの利用状況を把握したり安全管理を行ったりすることができる機能のことです。
- 困った問題が起きたら、すぐに大人や関係機関に相談しよう。

令和元年度に実施した調査において、大半の家庭ではルールを作っているものの、そのルールが1～2個しかないことが分かりました。子どもとしっかり相談して、家庭や子どもの実態に合ったルールを決めることや、ペアレンタルコントロールを設定することが求められます。また、ブロックいじめ対策委員会の協議において、「ノー○○・デー」の取組が効果的であるとの報告もあります。特に、被害にあった時に迅速に対応できるよう、常日頃から気軽に相談できる関係を作っておくことも求められます。

お店等での買い物マナーをご家庭でも再度確認を！

夏休みも近付いてきました。長期休業中は、気の緩みなどから児童生徒の万引きが増える傾向があります。万引き等の初期型非行を防ぐため、常日頃から、子どもたちに買い物の基本的なルールを教えましょう。

<買い物の基本ルール>

- 必ず買い物かごを持つ。
- 精算が終わるまで、マイバッグを使わない。
- 陳列している商品をていねいに扱う。



ひとりで悩んでいませんか？

- ☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00
- ☆ 心の悩み相談（八幡浜市保健センター 成人保健係）
☎ 0894-24-6626 月～金 9:00～17:00
- ☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会）
☎ 0120-0-78310 24時間受付
- ☆ 18歳までのチャイルドライン（チャイルドライン支援センター）
☎ 0120-99-7777 まいごち 16:00～21:00

お気軽にご相談ください。

- ☆ いじめ110番（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00
- ☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）
☎ 0894-22-0110 24時間受付
- ☆ こどもの人権110番（法務局）
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15
- ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）
☎ 189（いちばやく）児童虐待通報電話 24時間受付

